

かめやま環境市民大学講演会

●日 時/平成21年10月3日(土) 14:00~16:00 ●場 所/亀山市文化会館 ●参加者/約600人
●講 師/新井 満 氏(あらいまん) (作家・作詩作曲家・環境映像プロデューサー)

「千の風に吹かれながら地球環境について考えてみよう」と題して

平成21年10月3日(土)かめやま環境市民大学講演会を開催しました。

講師は皆様よくご存知の「千の風になって」の日本語詩、作曲の新井満さんの講演でした。「木を植えた男」の物語に大変感銘を受け、作家ジャン・ジオノを探しにフランスプロヴァンスまで出掛けました。

草木一つ生えてない荒野の荒地にどんぐりの粒を植え続けていくお話です。20年後30年後には林になり荒地が緑色に染まって立派な森になっているのです。この物語から木を植える大切さと森林が育つ事は人間の幸せにも繋がると話されました。

自然の中で人間はいかに生きるべきか、「自然と人間の生かし・生かされる」共生とはどういうことなのかと問い掛けています。2001年に新潟「緑」の百年物語という県民運動をスタートさせ、21世紀の100年間を掛けて木を植えつづけるプロジェクトをプロデュースされました。荒地のフランスプロヴァンスだけでなく日本でも心の中にイメージの木を植えることが大切と力説されました。最後に「千の風になって」を歌唱され、満場の観客は熱心に聴き入っていました。

森林は二酸化炭素を吸収して酸素を作ってくれます。行き過ぎた地球温暖化を止めるためにも木を植えていきたいです。50年後100年後に緑の地球になっていたらどんなに素晴らしいでしょう。千の風になって考えてみましょう。



新井満氏が淡々と講演



約600人の観客



千の風に吹かれながら環境を考えよう



副センター長、新井氏、センター長



「千の風になって」を歌唱

新井満さん講演会
千の風に吹かれながら
地球環境について考えてみよう

講師 新井 満 さん

作家、作詩作曲家
1940年東京都生まれ
1960年『千の風になって』でデビュー
2002年『木を植えた男』がNHK『千の風になって』(連続テレビ小説)の音楽を担当
2007年『千の風になって』の映画化に携わる
2008年『千の風になって』の音楽を担当
2009年『千の風になって』の音楽を担当
2010年『千の風になって』の音楽を担当
2011年『千の風になって』の音楽を担当
2012年『千の風になって』の音楽を担当
2013年『千の風になって』の音楽を担当
2014年『千の風になって』の音楽を担当
2015年『千の風になって』の音楽を担当
2016年『千の風になって』の音楽を担当
2017年『千の風になって』の音楽を担当
2018年『千の風になって』の音楽を担当
2019年『千の風になって』の音楽を担当
2020年『千の風になって』の音楽を担当

かめやま環境市民大学講演会

日時 平成21年10月3日(土)
開場13:30~
開演14:00~(終了16:00)

場所 亀山文化会館 大ホール
(客席947席)

問い合わせ先
亀山市総合環境研究センター
TEL: 0595-84-5068
主催: 亀山市総合環境研究センター・亀山市
協賛: シヤープ株式会社

亀山文化会館へのアクセス(亀山駅から徒歩4分)
会場(亀山文化会館)の所在地は、亀山駅から徒歩4分です。
〒511-8501 三重県亀山市大町1-1-1 亀山文化会館
〒511-8501 三重県亀山市大町1-1-1 亀山文化会館

入場無料

かめやま環境市民大学講演会

●日 時/平成22年9月12日(日) 14:00~16:00 ●場 所/亀山市文化会館 ●参加者/約500人
●講 師/大石 芳野 氏(おおいし よしの) (写真家・日本大学客員教授)

「不発弾とともに生きる・考える」

「不発弾とともに生きる・考える」と題して平成22年9月12日(日)かめやま環境市民大学講演会を開催しました。

講師は、1982年日本写真協会年度賞をはじめ数々の賞を受賞しておられる大石芳野氏です。写真家の目で見えたアジア、西アフリカ、ヨーロッパなどの取材を行い、人々の生活が戦争や紛争で命を奪われていく惨状を講演しました。

今回の講演では、アジアラオスで撮影された生活や人物、戦争の悲惨さの写真的スライドを紹介しながら、「戦争が終わっても不発弾が何十年も残るため、畑で働いていたところ突然に爆発し家族を亡くしたり、子どもがクラスター爆弾の小玉をオモチャだと思ってキャッチボールのように遊んでいて爆発するという悲惨なものであったり、不発弾は身近な生活の所にあるのが現実です。」と訴えられました。

戦争は全てを破壊し、自然も破壊されてしまいます。緑の大地ラオスの森も荒廃した土地となり、簡単には自然は元には戻らないのです。

「戦争は終戦となっても、このようにまだ続いているのです。」と強調。

「戦争は一瞬の内に環境破壊です。」それでは、私たちは何ができるのか、それぞれの人がそれぞれの立場でなすべきことを考えてみましょう。

「この声を上げることが大切なのです」と話され、観客は熱心に聞き入っていました。



大石芳野氏



講演会の観客

かめやま環境市民大学講演会

大石芳野氏 ~ともに生きる・考える~

平成22年9月12日(日) 入場無料

開場/13:30~ 開演/14:00~(終了16:00)

亀山文化会館 大ホール
TEL:0595-82-7111
交通:亀山駅から徒歩4分

問い合わせ先
亀山市総合環境研究センター
TEL:0595-84-5068
主催: 亀山市総合環境研究センター・亀山市
協賛: シヤープ株式会社

講師 大石 芳野 氏 写真家、日本大学客員教授
1952年東京都生まれ
1982年日本写真協会年度賞
1983年日本写真協会賞
1984年日本写真協会賞
1985年日本写真協会賞
1986年日本写真協会賞
1987年日本写真協会賞
1988年日本写真協会賞
1989年日本写真協会賞
1990年日本写真協会賞
1991年日本写真協会賞
1992年日本写真協会賞
1993年日本写真協会賞
1994年日本写真協会賞
1995年日本写真協会賞
1996年日本写真協会賞
1997年日本写真協会賞
1998年日本写真協会賞
1999年日本写真協会賞
2000年日本写真協会賞
2001年日本写真協会賞
2002年日本写真協会賞
2003年日本写真協会賞
2004年日本写真協会賞
2005年日本写真協会賞
2006年日本写真協会賞
2007年日本写真協会賞
2008年日本写真協会賞
2009年日本写真協会賞
2010年日本写真協会賞
2011年日本写真協会賞
2012年日本写真協会賞
2013年日本写真協会賞
2014年日本写真協会賞
2015年日本写真協会賞
2016年日本写真協会賞
2017年日本写真協会賞
2018年日本写真協会賞
2019年日本写真協会賞
2020年日本写真協会賞



不発弾で負傷して



身近な所に不発弾が



不発弾で子どもを失って泣き続ける母



不発弾の啓蒙活動



朴先生も大石氏のサインを頂き



副市長と